



第23回建設用ロボットに関する技術講習会の開催

テーマ「海洋資源と海洋開発・海からの水産物、鉱物、エネルギー」

—自動化・ロボット化技術が貢献できるか—

開催日：平成17年11月9日（水）

申込締切日：平成17年10月28日（金）

行事コード：E550 略称：23回建設用ロボット講習会

（社）土木学会建設用ロボット委員会（委員長：神崎 正）では、わが国の建設分野における自動化・ロボット化を推進する活動の一助として、建設用ロボットに関する技術講習会を企画、開催しております。

近年、地球温暖化対策の早急な実施が求められており、一方で、世界的な石油価格の高騰、海洋資源をめぐる国境問題等、海洋に関する様々な問題・課題が表面化し、解決を迫られております。

このような状況の中、今回は海洋の資源（水産物・鉱物・エネルギー）の研究や開発、さらには地球深部探査まで各分野でご活躍の方々を講師に迎え、海洋資源開発の現状や方向性に対するお考えと、それを支える基盤技術の動向などをご紹介します。

つきましては、多くの皆様方のご参加を頂きたく、ここにご案内いたします。

記

1. 主催：（社）土木学会（建設用ロボット委員会）

2. 日時：平成17年11月9日（水）9:30～17:00 <9:00 受付開始>

3. 場所：（社）土木学会 土木会館 2F 講堂（東京都新宿区四谷1丁目無番地 / JR四ツ谷駅下車徒歩3分）

4. プログラム

9:30～9:35	開会の挨拶	建設用ロボット委員会 委員長 神崎 正
9:40～11:00	（基調講演）海洋温度差発電への挑戦（百年少年の勇氣）	（株）ゼネシス 代表取締役社長 里見 公直
11:00～11:50	海洋肥沃化装置「拓海」プロジェクト	（株）大内海洋コンサルタント 代表取締役 大内 一之
11:50～13:00	昼休み	
13:00～14:00	（特別講演）深海底下7000mの掘削を目指す - 「ちきゅう」の挑戦 -	（独）海洋研究開発機構 地球深部探査センター長 平 朝彦
14:00～14:50	風力発電の現状と洋上風力発電の展望	足利工業大学大学院 教授 牛山 泉
14:50～15:10	休憩	
15:10～16:00	水中ロボットの活躍と世界的な開発動向	東京海洋大学 助教授 近藤逸人
16:00～16:50	バイラテラル操作型水中バックホウによる実海域実験	（独）港湾空港技術研究所 施工・制御技術部 研究官 平林 丈嗣
16:50～17:00	閉会の挨拶	建設用ロボット委員会 幹事長 酒向 信一

司会者（午前）武居 裕史 大成建設（午後）加藤 謙 東亜建設工業（株）

5. 定員：150名

6. テキスト：第23回建設用ロボットに関する技術講習会テキスト

7. 参加費：会員・6,000円、非会員・7,000円

8. 申込方法：学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内

（<http://www.jsce.or.jp/event/active/>）の「本部行事参加申込書」に参加者お一人につき1枚にて必要事項をご記入の上（特に行事コード番号）下記「参加申込先」までお申込みください。申込書到着後10日前後にて折り返し「参加券」をお送りいたします。

申込みに関してのお願い

申込み締切日前に定員に達している場合がございますのでご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合は、行事当日に会場にて受け付けいたします。

お申込み後、キャンセルをされる場合、開催日の1週間前までに下記「問合せ先」にご連絡ください。

ご連絡がない場合参加費を徴収させていただきますのでご了承ください。

お申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますのでおやめください。

テキストのみご希望の場合は、行事終了後に出版事業課までお問い合わせください。

9. 申込締切日：平成17年10月28日（金）

10. 問合せ先：事務局研究事業課 今村 玲子 TEL. 03 - 3355 - 3559